

の南九州

第 21 号
平成25年2月20日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



3年ぶりの「かせだうち」知覧町郡

宮脇小学校大規模改造など 5億3153万円 補正	 2
条例制定・改正，請願・陳情	 5
人事・指定管理者など	 6
一般質問12人が登壇	 8
所管事務調査	 14
市民の声	 16

造など補正

219億6,790万8千円

12月定例会



新設されたロードミラー

一般会計の主な補正

総務費

○交通安全対策費（一般経費）
39万4千円

ロードミラーの修理に要する経費の追加である。

○財産管理費（一般経費）
△518万4千円

法定外公共物補修工事に係る執行残を減額するものである。

～審査の中で～

ロードミラーの設置や修理は、賃金ではなく委託契約が妥当と考えるので今後検討するよう。

12月定例会は、12月10日から12月21日まで、12日間の会期で開催されました。
補正予算のほか、南九州市役所出張所設置条例を廃止する条例の制定、南薩地区消防組合の解散などが審議されました。
一部の議案に反対討論がありました。すべて原案可決されました。

～審査の中で～

問 減額となった理由は。
答 工法など事業内容を精査し見直しを行い減額した。

○まちづくり事業費
△140万円

まちづくり実践事業とまちづくり人材養成事業の執行残を減額するものである。

～審査の中で～

問 募集時期と周知方法は。
答 行政嘱託員、校区・地区公民館長合同会で4月と8月の2回説明と募集を行った。

○世界記憶遺産推進費
131万7千円

世界記憶遺産登録準備会に出席するアドバイザーの報償費の追加である。

～審査の中で～

問 準備会の開催状況と今後の予定は。
答 現在、打合せ会及び準備会をそれぞれ1回実施しており、今後2回の準備会と1回の打合せ会を実施したい。

民生費

○障害者自立支援給付事業費
1億4437万6千円

障害者福祉サービスに係る診療報酬改定や利用増に伴い増額するものである。

～審査の中で～

問 大幅な増額理由は。
答 就労継続支援事業の利用が増加したことや診療報酬が改定になったため。

衛生費

○清掃総務費（一般経費）
△1億3166万2千円

南薩地区衛生管理組合の2カ所の清掃センターの延命改修工事などの不用品や資源ごみなどの収入が予算を上回ったことから負担金を減額するものである。

～審査の中で～

問 南薩地区衛生管理組合の収入見込額が当初予算を上回ったのはなぜか。
答 資源ごみの価格相場の変動が激しいことから、当初予算編成で見積もり額を抑えていたことが要因となっている。



改修される焼却炉（川辺）

宮脇小学校大規模改

補正額 5億3,153万6千円

予算総額



解体される牧之内団地

農林水産業費

○活動火山周辺地域防災
営農対策事業費（生産
流通）

△613万3千円

野菜を生産する組合の
うち1組合が組合員数及
び耕地面積等が減少し補
助対象となくなること
から補助金を減額す
るものである。

審査の中で

委員から、補助申請の
取り下げは、今後本市の
補助事業採択に大きく影
響を与えることから慎重
な審査を行ってほしい。

○活動火山周辺地域防災
営農対策事業費（茶業）

5434万5千円

茶生葉洗浄脱水機整備
に要する補助金の採択に
伴い増額するものであ
る。

松林保全事業費

978万1千円

県との協議に基づき、
松くい虫被害増に伴う伐
倒駆除等に要する経費を
増額するものである。

○森林土木事業費

26万5千円

県営県単治山事業の箇
所決定に伴い県営事業負
担金を計上するものである。

土木費

○市道補助整備事業費

△8761万3千円

社会資本整備総合交付
金事業の交付決定と事業
執行による組替えに伴い
減額するものである。

審査の中で

問 25年度以降の交付金
事業の見通しは。

答 国の経済状況もあり
本年度より厳しくなると
思われる。

○住宅整備事業費

178万5千円

顕娃牧之内団地の1棟
2戸の公営住宅が、空き
家となったことから解体
するための経費である。

住宅管理費

123万円

市営住宅9団地84戸分
の個別受信機設置に伴う
負担金の増額である。

審査の中で

委員から、公営住宅等
の放送施設整備について
は、災害時や各種連絡の
伝達手段として重要な役
割を果たすため、未設置
箇所がないように十分に
配慮すること。

○小学校施設管理費

632万8千円

障害を持つ児童の入学
に伴うスロープ設置や複
式学級の設置などに伴う
工事請負費の増額である。



スロープが設置される九玉小学校

審査の中で

問 子どもの安全安心を
考慮すると校舎内にトイ
レを設置することは検討
しなかったのか。

答 建物内へのトイレ設
置について検討したが、
教室数の確保などの問題
があり断念した。

問 川辺小学校体育館天
井板補強について説明
を。

答 教育委員会の学校訪
問時に目視で確認し、さ
らに詳細に調査をしたと
ころ、早急な補強が必要
と判明した。



大規模改造される宮脇小学校

○中学校施設管理費

126万円

障害を持つ生徒の入学
予定に伴い、特別支援学
級改修工事を行うための
経費である。

○学校施設環境改善交付
金事業費

5億3559万円

宮脇小学校南校舎、北
校舎の老朽化に伴う大規
模改造工事に要する経費
である。

○社会体育総務費（一般
経費）

25万円

全国大会などに出場す
る個人・団体に交付する
奨励金に不足が生じたた
め増額するものである。



市内の介護保険施設

特別会計の主な補正

国民健康保険事業

○一般管理費

12万円

特定世帯などに係る国
民健康保険税の軽減特例
措置の延長に伴い、課税
システムの改修を行うた
め増額するものである。

介護保険事業

○認定審査会事務負担金

△523万9千円

南薩介護保険事務組合
の前年度繰越金及び職員
人件費の確定に伴い、負
担金を減額するものであ
る。

○退職被保険者等療養費

70万円

療養費の申請が見込み
を上回ったため増額する
ものである。



新町二本松・中松線污水管渠工事予定地

○高額介護サービス費

180万円

高額介護サービス利用
が増加しており、予算額
に不足が生じるため、今
後の利用を見込んで所要
額を増額するものであ
る。

公共下水道事業

○管渠及び排水設備維持
管理費

190万円

知覧地域新町地区に、
マンションや住宅が新築
されることに伴い、汚水
管渠を2カ所埋設するた
め工事請負費を増額する
ものである。

南部出張所廃止

南九州市役所出張所設置条例を廃止する条例

平成25年3月31日をもって南九州市役所南部出張所を廃止することに伴い、本条例を廃止するものです。

川辺地域屋外照明施設使用料の改正

南九州市立学校体育施設開放事業照明施設使用料徴収条例の一部を改正する条例

川辺小学校に屋外照明施設を新設したことに伴い、所要の改正をするものです。

※この条例は平成25年1月1日から施行する。



新設された屋外照明施設

基金設置

南九州市地域環境整備事業基金条例

飯塚オートレース場外車券発売所

オートレース川辺に関する行政協定書第7条により、環境整備協力費として、勝車投票券売上額の1%が飯塚市から本市に支払われることから、これを基金に積み立てて、地域環境整備事業の経費に充当します。



オートレース川辺

請願 採択

◎24時間対応の定期巡回・随時対応サービスに関する請願書

提出者：南九州市頰娃町郡9676番地4
田之上 幸弘

今後の高齢者のピーク時に目指すべき地域包括ケアシステムを達成することを念頭に、独居、老老介護・重度の要介護者などに対応できるよう、医療と介護の連携の強化推進の一環として、24時間対応の定期巡回・随時対応型サービスの整備事業の創設を請願します。

文教厚生常仕委員会の審査報告

昼夜を問わず定期的な見守りと、要介護者の状態に合わせた細かな介護が可能であることや、介護者が緊急時に連絡できる窓口が24時間対応していることから、介護を担う家族などが抱える夜間及び緊急時の精神的、肉体的不安が軽減され居宅介護できるものと期待される。よって、次期老人福祉計画、第6期介護保険事業計画策定に当たっては、高齢者実態調査などにより、市民のニーズを把握し、その結果を踏まえて検討する必要があると考えることから本請願の願意は妥当と認め採択すべきものと決定しました。

陳情 不採択

◎南薩地区消防組合の枠組みを堅持する陳情書

提出者：南薩医師会
南さつま市加世田村原1丁目3番地13
東 剛造

1. 南薩地区消防組合は解散せずに現在の消防組合体制を維持すること。
2. 消防広域化は救急医療を考慮し医師会と誠意をもって十分協議すること。
3. 将来より良い消防広域化に向けて地道に体制を整えていくこと。

以上陳情します。

反対討論、賛成討論あったが採決の決果、賛成少数で不採択となった。

人

事

案

件

◆教育委員会委員◆



蔵元 ゆり子氏
任期 25年1月8日から
28年1月7日まで
知覧町 郡



宮原 知見氏
任期 25年1月8日から
28年1月7日まで
知覧町 郡

指定管理者決まる

「指定管理者制度」とは、公の施設の管理運営を営利企業、市民グループなど法人その他の団体に代行させることができる制度であり、この制度によって、利便性の向上、施設を所有する地方公共団体の負担軽減などの効果があります。

平成25年3月末で期間満了となる3施設の指定管理者を決定しました。

新たな指定期間は、下記のとおりです。

- 施設名 顥娃多目的研修センター
- 団体名 麓自治会
- 指定期間 平成25年4月1日から
平成27年3月31日まで2年間



- 施設名 パンとお茶の館「茶楽里」
- 団体名 大成ビルサービス株式会社
代表取締役 大福 裕美子
- 指定期間 平成25年4月1日から
平成30年3月31日まで5年間



- 施設名 畑の郷水土利館
- 団体名 MM水土利館管理運営共同体
代表者 門松 経久
- 指定期間 平成25年4月1日から
平成30年3月31日まで5年間

地域密着型サービス事業者決定

選定基準は、指定地域密着型サービス事業の基本理念、人員、施設及び運営に関する関連法令等の基準を基に決定しました。

●認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

（知覧地域）

- 社会福祉法人 滴々会
理事長 浮辺 正和

（穎娃地域）

- 社会福祉法人 大川福祉会
理事長 瀧 潤

●地域密着型介護福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）

- 社会福祉法人 敬和会
理事長 松久保 秀徳



グループホームの建設予定地（知覧）



小規模特別養護老人ホーム建設予定地（知覧）

保育所民間移管先決定

南九州市行政改革大綱（平成20年9月策定）の中に民間移管等の推進があり、民間のノウハウや活力を有効に活用することにより公共サービスの質の維持、向上及び経費の削減が図られると判断される事業については積極的に民間移管を推進する。



- 施設名 市立星の子保育所
- 団体名 社会福祉法人 知覧中央福祉会
理事長 上之 悦子
- 移管日 平成26年4月1日

議会活性化
調査特別委員会
を設置

市議会の活性化に資するため、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、先進地及び関係方面から意見を聴取し調査を行います。

調査にあたり、議会活性化調査小委員会を立ち上げ、議会活性化に関する協議内容案をつくり、全議員で協議します。

委員長 今吉 賢二
副委員長 山下つきみ
委員 議長を除く
全議員

小委員会
委員長 蔵元 慎一
副委員長 吉永 賢三
委員 蓮子 幹夫
菊永 忠行
塗木 弘幸
伊瀬知正人

が聞きたい!

12人が
登壇

いっぱん質問



西 次雄 議員



田畑 浩一郎 議員

職員採用

年齢制限の撤廃は

市長／優秀な人材の確保から検討したい

田畑 本年度の職員の採用試験要領によると、一般職26歳未満、専門職35歳未満という基準を設けているが、臨時職員で優秀な人材については制限を撤廃し、採用する考えはないか。

市長 本市における受験資格の年齢制限については合併前の旧町の取扱い

などから、一般事務職は26歳未満、専門職は経験を有する人を広く募集するということと35歳未満としている。一般事務職に係る県内各自治体の年齢制限の状況を見ても、22歳から31歳までと幅がある。来年度以降の職員採用試験については、優秀な人材の確保の観点から、一般事務職においても広く社会経験を有する人を募集することも選択肢に入れ、年齢基準を検討したい。

なお、臨時職員枠を設ける考えはないので、一

財政

現状と今後の計画は

市長／概ね順調に推移し中期財政計画を策定中

西 現在及び今後の財政状況を問う。

市長 現在の財政状況は余裕のある状況とは言えないが、概ね順調に推移している。また、合併後7年間は旧3町の普通交



23年度採用された職員

般の受験者と同じ職員採用試験を受験していただく。

市政のここ

空き家対策

条例制定の検討は

市長／条例化に向けて協議する

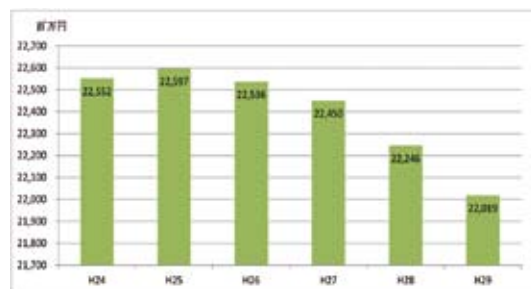
蓮子 本市も過疎化・高齢化が進展した影響により各自治会で空き家や廃屋が多く見られる。このような建築物を放置することによって、防犯、防災、倒壊、景観等周辺住民に対する迷惑は多大なものがあり、個人所有物であっても命令や勧告する対策を講じるべきである。近隣市においても条



蓮子 幹夫 議員

市長 永年にわたり適正に管理されていない空き家が見受けられる。所有者や相続人がしっかり管理すべきであり、所有者等に適正な維持管理をお願いしたい。住民の安心・安全を確保する公益を実現するため何らかの措置が必要である。空き家問題は、多岐にわたっている関係機関一体となつて対策を講じる必要があることから、効果的な対策が出来るように

市債残高の推移



人口推計



付税が交付されるが、その後は5年かけて激減緩和措置が行われて、平成32年度からは、南九州市として一本算定の額が交付され、現在の水準と比較して約20億円減額となると試算している。

西 23年度の経常収支比率は87・2%で、臨時財政対策債を除くと95・2%である。臨時財政対策債も市債に変わりはな

で平成25年度から平成29年度までの中期財政計画を策定しており、近いうちに皆さまにお示しする計画である。

その他の質問
・パブリックコメント



空き家となった住宅

条例化に向けて協議を進めていく。

財政課長 臨時財政対策債の起債残高は23年度末

公民館

行政窓口サービスを

市長／積極的に検討したい



竹迫 毅 議員

竹迫 身近な地区（校区）公民館を活用し、行政窓口サービスをを行い利便性の向上を図る考えはないか。

判断し賛成したが、身近な地区（校区）公民館を活用すると、窓口サービスは向上すると思う。このことは、本・支所のない校区を対象に検討すべきと思うがどうか。

竹迫 主要地方道の中でも石垣加世田線は、松山垂水間、旧長谷小付近、川原谷交差点など整備が遅れていると考えるが今後の取り組みを問う。

市長 今後主要地方道の整備促進を続ける



公民館窓口

南部出張所の廃止議案には、利用件数、財政負担等から廃止やむなしと

太陽光発電

メガソーラー導入に取り組む考えは

市長／設置が可能な場所であれば導入の取り組みに協力する



塗木 弘幸 議員

塗木 再生エネルギー特別措置法が施行され、国は太陽光発電の導入拡大を推進しているが、企業誘致の一環としてメガソーラー導入に取り組む考えはないか。

市長 農用地以外の規制の無いところで、設置が

可能な場所であれば、メガソーラー導入の取り組みに協力し、導入拡大を進められると考える。

三本松工業団地のメガソーラー設置の経過を問う
市長／立地協定を締結する予定である

ガソーラー設置の件が報告されているが、その後の経過を問う。

市長 投資会社スカイソーラージャパン社と平成24年12月19日に立地協定と土地の賃貸借の契約を締結する予定である。



メガソーラー設置予定地（頰娃）

点検管理 安全対策は 教育長／交通安全マップを 作成した



深町 幸子 議員

深町 教育委員会が、通学路の緊急合同点検を実施したが、本市の点検管理と今後の対策を問う。

教育長 危険度の高い場所をまとめた交通安全マップを作成し配付した。また、緊急点検の必要な39カ所を抽出し、関係機関と8月に合同点検を実施した。

11月の通学路連絡会議では、抽出箇所のうち半



通学路の合同点検

数近くで、路側帯の白線が引かれるなどの対策がなされたことを確認した。今後も通学路の合同点検を実施し、交通安全対策に取り組んでいく。

**空き家条例を
制定する考えは
市長／取り組む考えで
ある**

深町 集落内の空き家が年々増加し、防犯、防火面や木々の管理がされて

いないことから近隣住民に迷惑をかけていると思うが、快適な住環境を確保するため空き家条例を制定する考えはないか。

市長 全国で空き家等の適正管理に関する条例を制定している自治体があり、県内でも枕崎市や鹿屋市などが条例を制定していることから、これら自治体の条例を参考に本市も条例制定に向けて取り組む考えである。

施政方針

市営住宅の 建設計画は

市長／総合計画に基づいて進めていく



菊永 忠行 議員

菊永 施政方針の中で、人と物の交流を促進する基盤づくりで新たな市営住宅の建設を計画的に進めていくとあるが、取り組み状況を問う。

市長 建設については、総合計画に基づき進めている。昨年度までに6戸建設し、本年度は6戸を建設中で、平成27年度までに8戸の建設を行い、今後も交付金事業を活用して財政状況を見極めながら努力していく。



川辺地域に建設中の市営住宅

**子育て支援の取り組みは
市長／専門職による支援
体制を整えている**

菊永 施政方針の中で、安心して子どもを産み育てられるように母子保健サービスを実施するとあるが、取り組み状況を問う。

市長 保健センターを拠点に定期検診の無料受診券発行や相談を実施し、各種乳幼児健診など必要に応じて専門職による支援体制を整えている。

菊永 県知事と語る会で、小児医療の課題について要望が出されたところだが、その内容を問う。

市長 近隣市と小児科・産婦人科の開設を求める要望が出された。

観光振興策は

観

市長／積極的な事業推進を図る



伊瀬知 正人 議員

市長 観光と特産品のPR、販売は一体的な取り組みが必要であり、経済効果や地域活性化のために、新たな商品開発や販売について支援を行う。

伊瀬知 大野岳の湧水によるトイレの水洗化、また飲料水とするための水質検査を実施する考えはないか。

都市計画課長 トイレについては、26年度に実施

設計を予算要求する予定である。水質検査については必要であれば調査する。



大野岳の茶寿階段

伊瀬知 入り込み客数をどのように把握しているか。また、観光に関連する各種事業をプロジェクトチームで取り組む考えはないか。

市長 有料施設の入り込み客数は実数で、公園や物産館などは推計として報告している。また、誘客のため本市単独でプロジェクトを組んで取り組むような事業計画はないが、引き続き関係部署と連携しながら積極的な事業推進を図る。

伊瀬知 観光施設や直売所等における特産品の販売戦略を示せ。

今後のあり方と方向性は

教育長／市民サービスが低下しないよう検討を続ける

公民館



東 兼喜 議員

東 地区（校区）公民館のあり方検討委員会の検討結果と今後の公民館のあり方と方向性（進め方）は。

教育長 現在、地域の実情を反映した組織運営が定着しているので、今後でも当分の間、3地域でそれぞれの運営を充実させながら3町の統一されたあり方について、市民へのサー

東 ビス等が低下することがないように検討を続ける必要がある。

東 知覧地域の公民館長の報酬額の見直しの考えはないか。

教育長 現在、公民館における役割や館長の職務に対する認識、評価等から業務に相応したものと考えている。業務内容など様々な角度からこれまでの経緯を踏まえながら多面的に検討したいと考えている。

東 知覧地域の書記の報酬額は妥当か。

教育長 書記の報酬については、本市の臨時職員等の賃金単価の日給、5300円を基準に週4日の月16日で月額8万4800円となっており、報酬額としては条例で定めてあり妥当である。



霜出校区公民館

危険廃屋

解体撤去に 助成を

市長／所有者が責任を
持って



内園 知恵子 議員

内園 放置された廃屋が増えている。防災の立場から危険であると同時にシロアリの巣となるなど周辺住民の住環境を悪化させる弊害が大きいいため、撤去が望ましい。しかし、経済的理由などで解体が進まない状況にあるので撤去費用の助成を
する考えはないか。

市長 個人の財産であり所有者が責任を持って管理、解体してほしい。



老朽化した家屋

就学援助制度について 教育長／口座振込を実施

内園 就学援助の支給方法は、保護者を直接学校に出向かせ現金を渡すとのこと。これは、子どもの心を痛めるといふ考え
方から、口座振込にする
考えはないか。

学校教育課長 本年度から口座振込を実施している。

内園 平成22年度から新たに「クラブ活動費・生徒会費・PTA会費」が支給項目に加わったが本市ではどうか。

教育長 支給対象としていないが、県や他市の動向を見極めていく。

その他の質問

- ・消費税増税
- ・原発

インフラ整備

市道から農道に架かる 橋梁管理は

市長／農道として管理する



加治佐 民生 議員

を実施、市道認定基準を満たさないで、農道として管理する。他の2路線は市道として認定する
考えである。

その他の質問

- ・太陽光発電

加治佐 穎娃・知覧境に50年経つ橋があるが、今後の管理はどうするのか。

耕地課長 橋については農道として耕地課で管理
する考えである。



穎娃・知覧地域境の橋

加治佐 穎娃・知覧地域の境において、市道と農道に分かれている路線が見られる。合併後、調整されていない路線があると思うが、どのように対処する考えか。

市長 市道と農道に分かれている路線は、旧穎娃町と旧知覧町境において、市道加治佐川線から浮辺新田地区の農道へ続く1路線。また、旧知覧町と旧川辺町境においては2路線があり、合わせて3路線を確認している。旧穎娃町と旧知覧町をまたぐ1路線は、平成21年度に農道の舗装事業

対策の現状は

市長／効果的な対策は見いだされていません



蔵元 慎一 議員

蔵元 発生状況はどうなっているか。

市長 平成24年11月現在で、発生地区85地区、発生面積が7・142ヘクタールと推定されている。
蔵元 生態について十分に把握しているか。また、駆除を含め、対策について県との協議をどのように進めているか。



民家に設置されているヤスデ返し

市長 県ヤンバルトサカステ対策検討委員会において、発生状況及び駆除対策、不妊化手法の解明調査等の報告及び駆除のための補助事業の要望など行っているが、これといった効果的な対策は見いだされていない。被害の多い近隣自治体とも協議して市長会などを通じて県に要望していく。

麓川のリバーフロント整備事業計画は

市長／一部工事を進める予定

蔵元 休止しているリバーフロント整備事業を今後どのように進める考えか。
市長 今年度委託費が予算計上され、用地測量や護岸設計を実施している。麓公園から須田木橋上流までの約150mの護岸工事と遊歩道を計画しており、平成25年度は用地買収と一部護岸工事を進める予定である。

閉会中の所管事務調査報告

共生・協働のまちづくりについて

◆総務常任委員会◆

委員会は、「共生・協働のまちづくり」について、本市の状況を踏まえ日置市で調査を行いました。

本市では、「協働と自立による住民主役の个性的なまちづくり」を総合計画の政策のひとつに設定し、市民協働のまちづくりに取り組んでいる。

また、*コミュニティプラットフォーラムの構築が課題であるが、顕娃地域の公民館活動がその完成に近い組織形態と考えられるとのことであった。

日置市は、市内26カ所の地区公民館を、社会教育法で規定する公民館ではなく、地方自治法で規定する公の施設として条例化し、地域づくりのための自治活動の拠点としての役割を持たせ、共生・協働の核と位置付けている。

地区公民館ごとに地域振興計画を策定しており、市としても、助言や協力のために、市長を推進部長として、全職員が地区公民館及び178自治会の担当職員として割り当てられている。

促進する具体的な施策を市民に示すこと。

※コミュニティプラットフォーラムとは

市町村の区域を、小学校区などの一定の地域に分け、地域を代表するような新たな組織に財源や権限を委ねて自主的な活動を推進していく住民自治の仕組みです。

提言

財政が硬直化する中で、地域を活性化させていくためには、住民同士が支え合い、市民と市が協働するまちづくりを進める必要があることから、地区（校区）公民館の単位を基本に、各地域の実情に即した範囲で、顕娃地域の地区公民館の取り組みを参考としながら、共生・協働の組織づくりと、コミュニティプラットフォーラムの構築を



高齢者福祉施設の整備と今後の対応策について

◆文教厚生常任委員会◆

委員会は、高齢者福祉の整備状況と今後の対応策について、調査しました。

本市には、直営で運営されている介護予防居宅介護支援事業所（通称地域包括支援センター）3カ所以外に、地域密着型サービス事業所及び介護保険施設などが21カ所設

置されており、地域密着型サービス事業所（グループホーム）の待機者は74名となっている。施設整備については、本年度から26年度までの3カ年を計画期間とする市老人福祉計画及び第5期介護保険事業計画において、認知症対応型共同生活介護事業所（グルー

プホーム）2カ所と地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所（29人以下特別養護老人ホーム）1カ所を、本年度中に事業者の公募を行い、26年4月から開所予定である。

今後も前期高齢者が増加傾向にあることや、高齢者世帯の割合及び認知症の増加など介護を必要とする高齢者が大幅に増加していくことが想定され、その対策が求められる。

提言

●施設の介護職員を確保するため、支援策を検討すること。

●家族介護の負担軽減の支援策と認知症を地域で見守る体制づくりを構築すること。

●長期的な展望に立った施設整備を行うこと。



介護施設の様子

市道の整備と今後の対応策について

◆産業建設常任委員会◆

委員会は、市道の整備と今後の対応策について、調査しました。

現在の市道整備率は総路線数1584路線に対し、改良率62・9%、舗装率73%となっており、市道等の整備については、合併前からの継続路線や緊急度の高い路線から優先的に整備している。

また委員会は、市道整備計画に組み込まれていない74路線のうち、幹線市道17路線について現地調査をし、国道、県道及び南薩縦貫道を骨格とし、これと地域間を結ぶアクセス道としての幹線市道の整備が重要と位置づけました。

橋梁については、定期点検を実施し、健全性、安全性を確保。22年度から23年度にかけて全309橋梁の長寿命化修繕計画を策定しており、25年度から補助事業を活用して3橋梁について実設計委託を行い、26年度から架け替え、補修、補強等の工事に着手予定である。

提言

●地域の実情にあつた整備計画とすること。

●補助事業の採択に向け取り組みを強化すること。

●仮設道等の設置は極力避け、住民の理解を得て事業費縮小を図ること。

●道路改良は、歩行者の安全のため可能な限り歩道を確保すること。
●国道などと地域間を結ぶ幹線道路網を重点的に推進すること。



整備が待たれる橋梁

市民の声



額娃町 郡

上村 益治

独自の条例制定を！

小学生の頃より一番苦手だった作文。そこへまさかの原稿依頼。

- 「あ、いいですよ」と軽く引き受けたはいいが、お調子者の私が何を書けばいいのか。5分ほど熟考して思ったこと。それは南九州市独自の条例制定案（罰則なし）です。
- ①毎日仏壇に手を合わせよう。
 - ②お茶を一日3杯以上飲もう。
 - ③ご飯は一粒残さず食べよう。
 - ④週に一度は奥さんに「ありがとう」と言おう。

- ⑤からいも消費量日本一を目指そう。（自然にお茶も飲む）
 - ⑥農家の主婦もたまには化粧をしよう。
 - ⑦標準語にびびらないようにしよう。
 - ⑧市民はA—Zで迷子にならないようにしよう。
 - ⑨梵字^{ぼんじ}を読めるようになるろう。
 - ⑩子どもが生まれたら自治会総会で万歳三唱をしよう。
- 挙げればきりがありませんが、これらの項目が頭の隅にあるだけで、先祖への感謝、健康促進、家庭円満、地産地消、郷土文化への誇り、少子化対策など、少しでも意識し行動に移せると思います。



小林市議会だより



菊池市議会だより

広報編集委員会 研修報告

平成24年10月24日から25日にかけて、議会広報研修として熊本県菊池市と宮崎県小林市を視察研修しました。

●「読みたくなる議会だより」と題して年2回、議員全員参加で新聞社による研修会を開催している。

●市民の方々の意見を聴取するためハガキが付けられている。

●議会だよりの表紙は市民へ公募している。

●できるだけ文字を少なくし、スペースを取って読みやすくしている。

●など、本市も取り入れてみたくなるような内容で大変参考になりました。

●議会だよりは、議会の動きや予算の審査、議員の活動などを皆さまに伝える役割があります。

●研修で学んだことを参考に、より親しみやすい議会だよりづくりに委員一同努めてまいります。



小林市での研修



議会だより 第20号の訂正

11月5日発行の南九州市議会だより第20号15ページ上段において議員名「伊瀬知」を「伊地知」と誤って記載しておりました。訂正してお詫びいたします。

編集後記

新しい年を迎え、市民の皆様には新たな希望に満ちた年であることを願ったのではないでしうか。

昨年末に国の政権が交代しました。新政権は景気の浮揚を主に13兆1000億円規模の対策を打ち出しています。が、景気が良くなることは大賛成です。長引く不況や東日本大震災で国民の生活は最悪の状況です。

まずは景気が良くなることを望みつ、国の借金である国債が増加しないよう国の行く末を案じながら、今年一年が平穩な年であるよう願っています。

(西)

▼広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 田畑浩一郎 |
| 副委員長 | 亀甲 俊博 |
| 委員 | 下窪 一輝 |
| | 西 次雄 |
| | 吉永 賢三 |